

## 「育英長寿会」

薩摩川内市中郷4-51

発表者：中 園 侃

育英長寿会を代表して、活動状況を発表させていただきます。

私どもの育英長寿会は会員数74名、そのうち女性44名、男性30名です。



行事などで集まれば、ワイワイ、ガヤガヤ、世間話に花が咲きます。明るくて、活力に満ちあふれた団体であります。

次に育英地区ですが、薩摩川内市の中心部から北西へ3キロの地域です。写真の左側がJR新幹線、一番右側が川内川、中間に国道267号線が通っています。私たちが子どもの頃は田園地帯でしたが、現在は住宅地へ変わってきています。人口は昨年12月1日現在で4,557人、うち65歳以上が678人で高齢化率は14.8%です。因みに市全体の高齢化率は26.7%です。

(平成20・12.1現在)	総人口	65歳以上	高齢化率
薩摩川内市	102,146人	27,262人	26.7%
育英小学校区	4,557人	678人	14.8%

育英小学校では年々児童数が増えつつあり、ただ今、校舎を増築中です。少子高齢化が進んでいる今日、特筆するに値する現象だといえます。



さて、これからは、平成20年度年間活動計画を中心に発表いたします。活動の基本は、健康、友愛、奉仕の三大原則に則り、高齢者学級とタイアップして実践していきます。特に



教養講座は、高齢者に必要で関係の深い内容を行うことに配慮して行ってまいりました。

因みに6月は後期高齢者医療制度について、市の出前講座で行っています。7月は交通安全教室、8月



は生活習慣病について受講しています。11月はゴミの総量削減と分別の徹底を図るために薩摩川内市のクリーンセンターを見学しました。又、認知症とうの勉強のために地元の鹿児島純心女子大学で研修を受けました。又、12月は正月料理の勉強、1月は転倒防止についての講話と体操を行っております。

なお、9月に実施したスポーツ大会ではコミュニティー協役員、民生児童委員、小学校・保育園の先生方など沢山の方々に参加していただき一緒に楽しみました。

それでは具体的に実施した活動を紹介します。その最初は、快適環境づくりです。育英小と育英地区コミュニティーセンターの近くにある面積535㎡の畑を活用しています。薩摩川内市から助成金を受けて実施し、できるだけ年間を通して花を絶やさないように心掛けています。今までに植えた花の品種はマリーゴールド、千日草、サルビア、白妙菊、カンナ、ポピー、ケイトウ、コスモス、ナタネ等です。

2番目は世代間交流です。その最初は、育英小学校5年生の皆さんとの交流です。6月に田植え、10月に稲刈り、12月は餅つき大会、2月にぜんざい会で、そこで使うお箸は竹ばしで児童が作ります。



これは、育英小学校3年生の皆さんとの交流の状況です。最初の写真は昔の生活・遊びなどを話したり、おはじきをしている様子です。竹とんぼ作り、コマ回し、ビー玉、面子、お手玉の遊びもやりました。

世代間交流の2番目は、育英保育園児の皆さんとの交流です。

学習発表会に私共会員が参加しまして、コーラスや踊りをしたり、水鉄砲で遊んだりします。

右下の写真は園児と一緒にさつま芋の収穫の様子です。

このような世代間交流は育英小学校、育英保育園に期待され、夫々の毎年の年間行事予定に組み込まれています。皆さんに喜んでいただければ、こちらも大変嬉しいです。子どもさんから元気をいただいたり、私たちの生きがいにもなっています。

これは、地域活動への参加のひとつです。育英地区文化祭への参加で、自分たちが作った作品の展示とハーモニカ演奏の状況





です。写真はありますが、竹筆をつくり、毎年、育英小に10本を提供しています。

これは、地元にあります諏訪神社の清掃作業を行い、終わった後の集合写真であります。次の写真は、育英小学校の運動会で、“宝釣り”の種目で会員達が参加し、生徒さんから賞品をいただいている状況です。

最後に今回の受賞は、従来の活動内容を見直す絶好の機会になりました。それを踏まえて次の2点が今後の課題であると思っています。1つは、より魅力ある活動の推進

- (1) 要望、意見を反映した活動
- (2) 教養講座、レクリエーション
- (3) 健康づくりによる介護予防活動
- (4) 地区コミュ協との一層の連携・協調を図るなどであります。

2つは、会員の増員を図ることです。色々、努力しているがなかなか実現しないのが実状です。

今後とも、百尺竿頭一步を進めて参る所存であります。

つきましては、関係の機関・団体の皆様の一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、発表を終了させていただきます。ご静聴ありがとうございました。

